

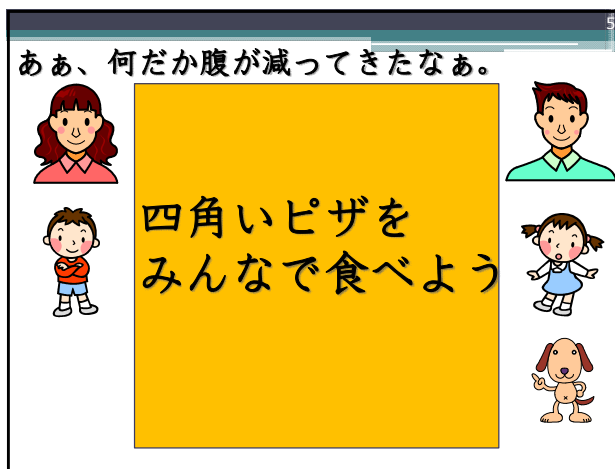
学校支援 使用プレゼン解説

こんな感じで使って、 主体的・対話的な学びに!

今回の研究での学校支援における提案では、プレゼンテーションソフトを用いて、講義・演習を組み合わせて実施しました。

ここでは、いくつかのエクササイズについて、各学校で実施される際の参考となるように、実際の研修の流れをセリフ付きで紹介します（トップページのおすすめコンテンツ「学校支援使用プレゼン **PowerPoint**」を参照ください）。

①「四角いピザをみんなで食べよう」

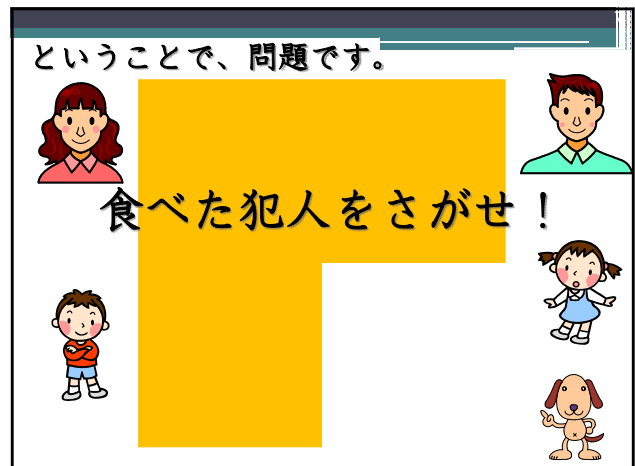
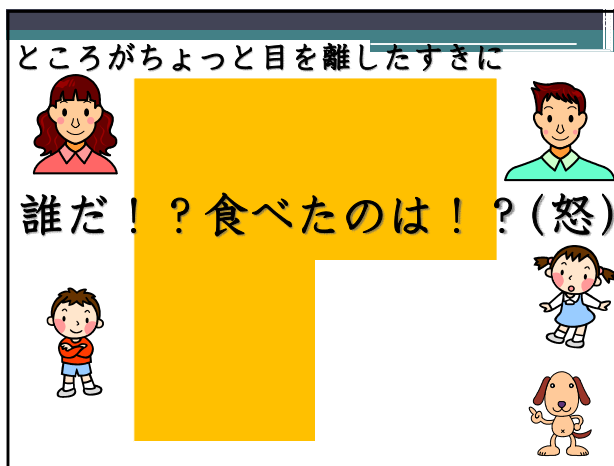


今回の学校支援における研修では、最初に文科省「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」の概要を説明し、その中でも、人権尊重の視点に立った学校づくりを行う上で、教職員が担うべき人権が尊重される環境づくりについて説明を行いました。

説明のあと、最初に行ったのがこのピザのエクササイズです。

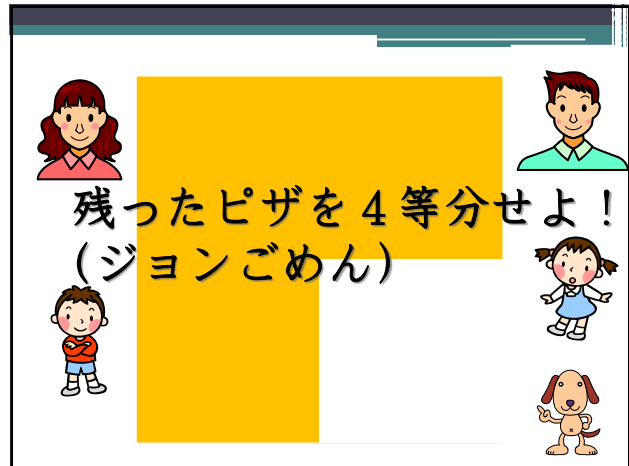
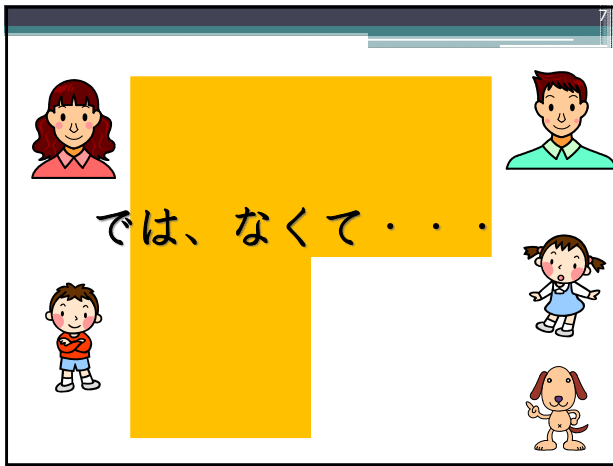
このエクササイズは、「思い込み」「先入観」「固定観念」とはどんなものかについて考えるものです。

私たちは、日常生活の中で、気付かないうちに様々な「思い込み」をしています。このエクササイズを通して、同じような「思い込み」を「人」に対してもやっていないか、を問いかけ考えてみてはどうでしょうか。

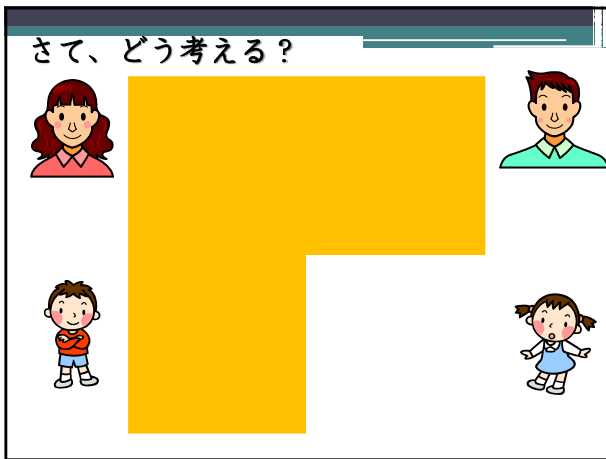


「画面のような家族構成で、正方形のピザを4等分して食べようと思います。今日は人権の研修ですから、子どもは少しでいいなんて考えたらダメですよ(笑)」

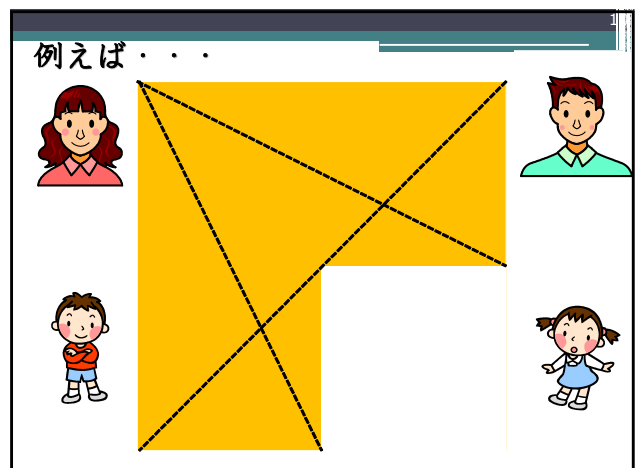
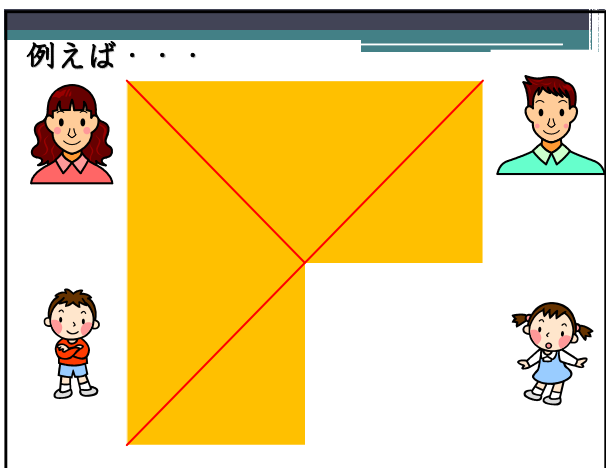
「さて、4等分して食べようとピザを見たら、あらあら誰かが4分の1を先に食べてるじゃないですか!と、ということで今日の最初は誰が食べたのかを考えてもらいましょう・・・ではなくて(笑)・・・しょうがないので残ったピザを4等分してみましょう。」



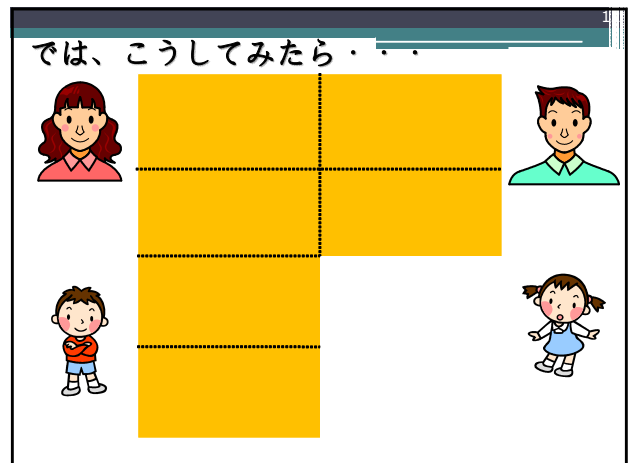
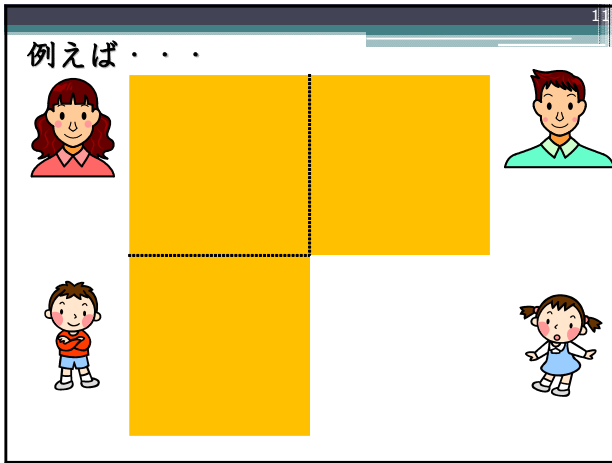
「犬のジョン・・・という名前だったんですね(笑)。申し訳ないけどジョンにはここで退場してもらいましょう。」



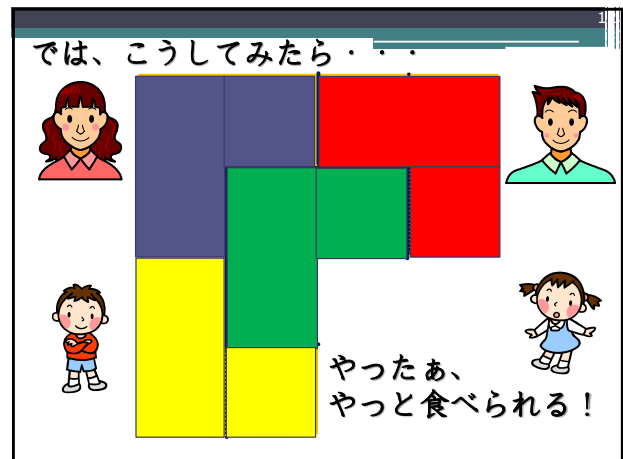
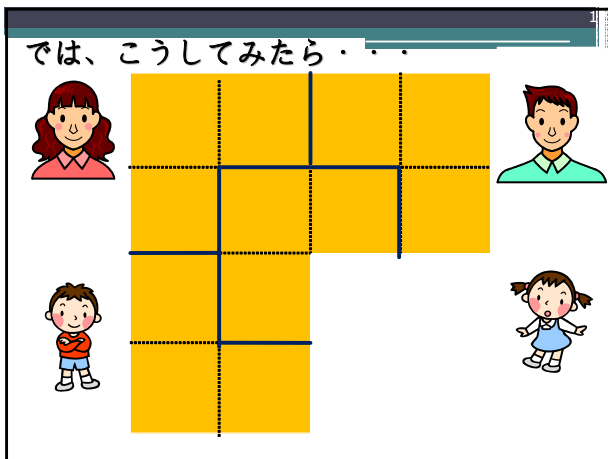
「さて、このような形のピザを4等分、同じ形に分けるにはどうしたらいいでしょうねえ」



「私だったら、まずこんな感じで線を引いて・・・」
「頂点を結んだり・・・あれれ、これじゃあ4等分なんてできませんねえ(涙)」
「隣の人や前、後ろの人と見比べてみてみましょう。みなさん、どんな感じですか？」



「では、こんなふうに線を引いてみてはどうでしょう？」
 「だんだん、分かってきましたか？」
 「あとここここにも線を引いて・・・もう分かっちゃいましたかねえ」



「こんなふうに小さい正方形が集まってできた形だと分かれば・・・」
 「そして、こんな感じで同じ形で4等分ができるんですねえ」
 「みなさん、できましたか？」
 「できた方は素晴らしいですねえ。できなかった方は、どうしてできなかったのか考えてみましょう。私も最初このエクササイズをしたときはできませんでした。」
 「全体ばかりを見てしまって、小さい正方形の集まりだということに気付くまでに時間がかかりました。」
 「これって、意外と私たちが陥りやすい思い込みなのかもしれません。」
 「私はこれまで、うちの学校の生徒は・・・、あのクラスは・・・、あの人たちは・・・、なんていう言い方をよくしていました。学校もクラスも集団も、ほんとは異なる一人一人が集まってきているのに・・・」
 「このエクササイズで、少しだけ見方を変えるきっかけとなっていただければ幸いです。」

②「ある日・・・ほぼ毎日の私の一日」

このエクササイズは、それぞれの先生方が学校における仕事以外でどのような生活をしているかを振り返ることから、男女平等や男女共同参画社会の現実、育児や家庭生活における役割分担等について考えるものです。

ある日・・・ほぼ毎日の私の一日	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
仕 事	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
就寝	



「さて、みなさん毎日朝早くから夜遅くまで生徒のために、頑張っていたらと思います。」
 「私の場合は、仕事よりも家庭の方が頑張っていたりします(苦笑)」
 「ここでは、私の一日を紹介しながら、先生方自身の日々の生活と比べてみてください」

「では、空欄に私が毎日仕事の前や帰宅後にしていることを想像して書いてみてください。先生方自身がどのようなことをされているかを考えれば、そんなに難しくはないと思いますがどうでしょうか？」

「さて、書いていただけましたか？仕事の後の空欄多いですねえ(涙)埋まりますか？(笑)」

「では、それぞれ書いていただいたものをもとに、周りの方と先生方自身はどんな毎日をご過ごされているかを語り合ってみましょう。」

ある日・・・ほぼ毎日の私の一日	
起床・朝食・出勤準備	長男を見送り、次男を保育園へ
仕 事	
保育園・小学校の迎え	長男の宿題、明日の準備
洗濯物の取りこみ、整理	夕食の配膳・食事
食後の片付け	子どもと入浴
洗濯	子どもたちの服の準備
(アイロンがけ)	部屋の片付け
就寝	



「盛り上がってきましたが、答え合わせをしてみたいと思います。ぜひ、先生方の毎日の生活と比べてみながらお聞きください。」
 「まず、起きて・・・」
 (以下、略)

「先生方の中にも、共働きの方が多いのではないかと思います。また、小さい子どもさんがいらっしゃる方もおられることだと思います。」

「遅くまで仕事ができるのは、その分、家事や育児をパートナーがしてくれているからですねえ。」

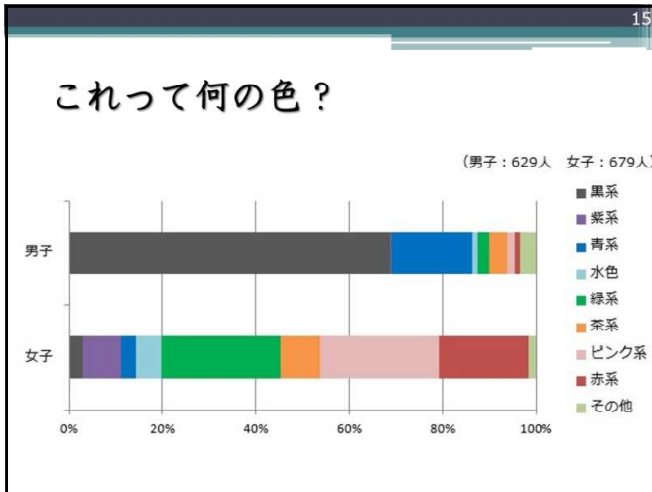
「生徒の保護者の方も同じなんですよねえ。生徒の中には、食事の準備やきょうだいの世話をしている子もいるかもしれませんよね。」

「そんなことを考えると、ちょっと生徒や保護者の方々を見る目が変わってくるかもしれません。」

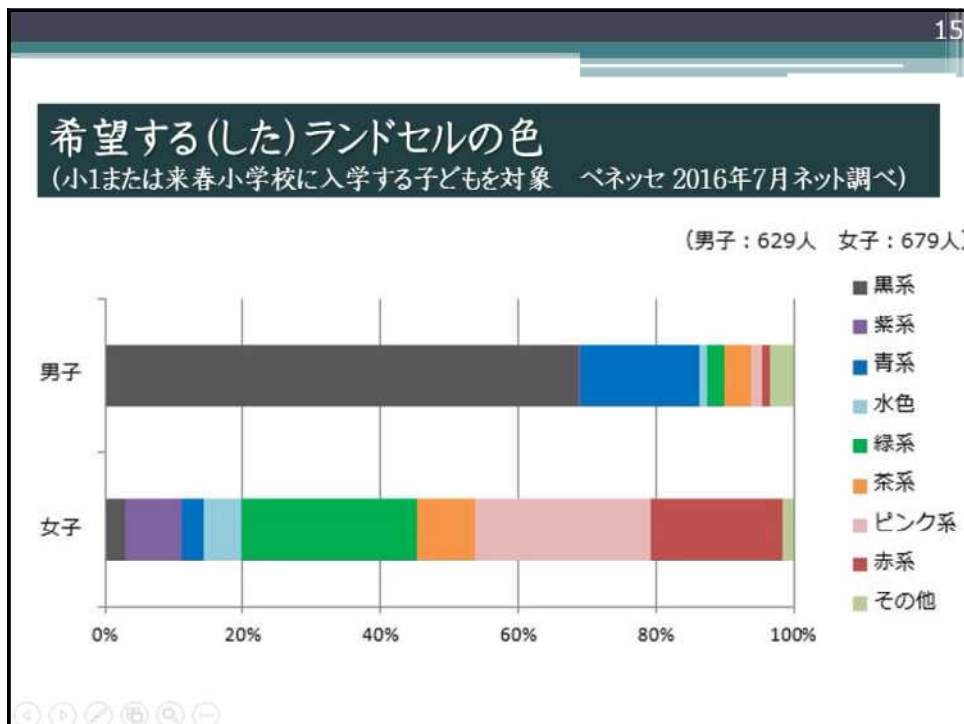
「このエクササイズを通して、自分自身の生活を見つめ直すとともに、周りの人々も同じように、それぞれに家庭があり、生活しているということを再認識してもらえたら、と思います。」

③「これって何の色？」

このエクササイズは、ランドセルの色を通して、私たちがいつの間にか「決めつけ」ていることがないかを考え、そのような「決めつけ」がなぜ起こるのか、どうしたらなくなるのかを考えるものです。



「さて、このような調査結果がありますが、これって何の色だと思いますか？」
 (「好きな色！」の声が聞こえる)
 「なるほど、そうですね。好きな色という声がありました。他の方はどう思いますか？何の色か予想してみてください。」

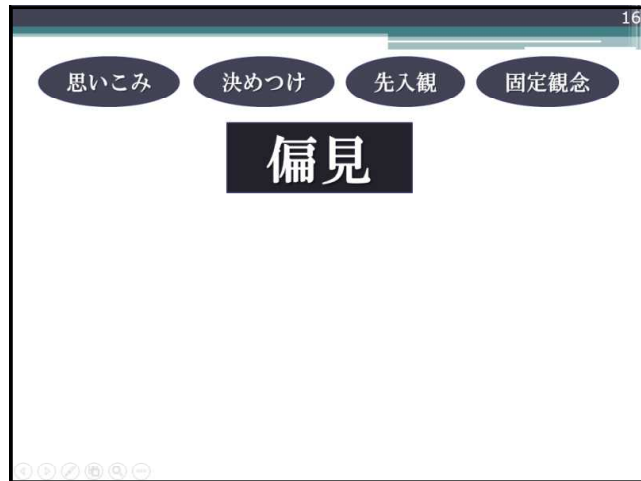


「実は、これはランドセルの色の調査結果なんです。予想は当たりましたか？」
 「みなさんの中にも小学生のお子さんがおられる方は分かれるかと思いますが、ほんと今のランドセルはカラフルですねえ。」
 「私が子どものころは、黒と赤しかなかった気がするんですが(苦笑)」
 「男は黒、女は赤・・・だったですねえ？」

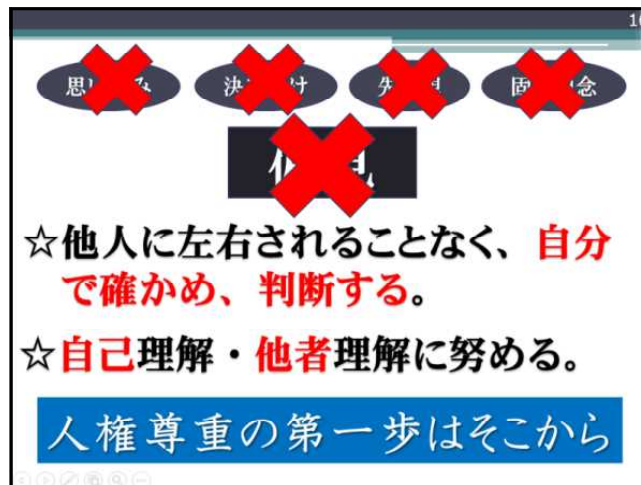
「今の子どもたちは、自分の好きな色のランドセルで学校に通っていますが、親や祖父母の方が・・・」
 「私も長男のランドセルを買う際、子どもを黒や紺系のランドセルが並んでいるところの前で、好きなものを選びなさい・・・なんて、言っちゃいましたもんねえ。」
 「スリッパや靴、服の色だってそうですよねえ。髪型だって・・・。」
 「私たち教師自身が『決めつけ』てしまっていることはないでしょうか？」

④「人権尊重の一步はそこから」

①～③のエクササイズのと、前半のまとめとしてこのような話をしました。



「さて、ここまでいくつかのエクササイズを通して、私たちは知らず知らずのうちに、思い込みや決めつけ、先入観や固定観念をもって物事を見たり、人と接していたりするのではないかとこのことに気付いてもらえたことと思います。」
 「そのようなことが強くなればなるほど、物事や人に対して偏った見方をしてしまう恐れがあります。そう、偏見です。」



「そのような見方、接し方をしないためにも、思い込みや決めつけ、先入観や固定観念、偏見を取り除いて物事や人を見ていくことが大切です。」
 「そのためには、他の人や報道等に左右されることなく、自分で確かめ、判断することが大切です。」
 「また、他者理解に努めると同時に、自分自身のことをきちんと理解していくことが大切です。自分のこれまで歩んできた人生、生活があるのと同じように、他者にも歩んできた人生、生活があります。自分のことを知ることで、他者のことを理解できるようになるのではないのでしょうか。」
 「そうすることが、人権尊重の第一歩につながるのです。」

どうだったでしょうか？学校支援使用プレゼンの16枚目まではこのような感じで実施しました。各学校でされる場合は、担当者の方が自分のことに置き換えて話をされるといいかと思います。後半の部分については、「研究の実際」に使用資料名をあげていますので、参考にしてください。